

## Usefulness of cell block cytology for preoperative grading and typing of intraductal papillary mucinous neoplasms (IPMN).

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-11-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 門前, 正憲 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/30810">http://hdl.handle.net/10470/30810</a>

様式 (6)

## 学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2813 号	氏 名	門 前 正 憲
審 査 委 員 会	主 査 教 授	立 元 敬 子	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>膵管内乳頭粘液性腫瘍 (以下 IPMN) は組織学的亜型により悪性化リスク、癌の組織型、予後が異なる。術前の悪性度診断には内視鏡膵管造影下で採取した膵液細胞診が行われるが精度は低い。本研究は免疫組織化学染色が可能なセルブロック細胞診で IPMN の精度診断を検討した。</p> <p>外科切除された IPMN20 症例を対象に、術前に膵液の細胞成分でセルブロックを作成し HE 染色とムチン染色で組織学的亜型を診断し、切除標本の病理診断と比較した。セルブロック細胞診による組織学的亜型は分枝型の 1 例を除き、すべて手術病理診断と一致した。セルブロック細胞診による IPMN の上皮異型度の感度は、主膵管型・混合型で 67%、分枝型で 33%であった。</p> <p>膵液セルブロック細胞診は従来の膵液細胞診に比べ精度が高く、手術病理診断の IPMN 組織学的亜型の一致率も極めて高かった。術前診断法として有用性が証明され、臨床的かつ学術的に価値ある論文である。</p>			
本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			

